13人の議員が一般質問

笑顔あふれるまちを目指して！

質問は12月8日、9日、10日の3日間で行われました。
（質問の順序は抽選で決められ、その順に各議員から提出された要約原稿のとおり掲載しています。）

問 緊急不況対策を実施せよ
答 融資制度を拡充する

井上　薫　議員（共産党）

❶2009年度予算は、市民の暮らしを守り、地域産業活性化につながる編成を求める。

市長　代表的な農産物である玉露など農業の振興、同志社との連携によるまちづくり、本市の立地条件を生かした起業立地の促進など、京田辺らしさを活用した施策「京田辺市らしさ創造予算」については、今後具体化を進める。また、役所の視点から市民の視点へと発想の転換をはかり、現場を見、市民の声に耳を傾け、仕事に生かすかが職員に与えられた使命だと考えている。そして前例踏襲をはじめとする役所からの発想ではなく、市民の目線に立った発想、地域や生活者の視点に重点を置く中で、何が求められているかをしっかり見極めた予算を考える。

❷農業の振興、地元中小企業応援で経済の活性に努めよ。また緊急不況対策本部の設置、実態調査を行うべきだが。

経済環境部長　農業の実態調査は、10月末以降も引き続き、JA、生産農家を通じて調査している。燃油、資材、肥料などの高騰対策として、直接補てんは困難であるが、生産物に対して価格保障的な施策を検討している。こうしたことが、農業離れ、遊休荒廃農地の解消につながると考えている。地元企業についても、商工会での窓口調査を行った。今後市と商工会が企業訪問を行う予定である。この調査結果を見ながら対策本部の必要性について検討する。経済対策としては、府の融資制度に対して保証料補給や利子補給金などの金融対策を講じている。また、来年1月から新しい融資制度に伴い、利子補給する期間の延長を検討している。

❸都市計画決定など七分野に及ぶ権限移譲が府から示されている。対応は。

総務部長　マンパワーと財源が課題、体制の整備を進める。

工場等の施設が建ち並ぶ市北部
大住工業専用地域

問 学校給食の民営化をやめよ
答 22年度から調理業務を委託

水野　恭子　議員（共産党）

❶学校給食法に基づいて、安全で豊かな学校給食を。学校給食は、教育の一環であり、献立の作成から食事に至るすべてが食教育である。給食調理業務を民間業者に委託することは、調理業務を民間の営利活動に委ねることであり、民間業者に教育的配慮を期待することはできない。市は、平成8年から12年間、正規の職員を1人も採用せず、人件費を2億円も減らしてきた。20年度では正規職員が1人もいない学校ができている。いま、やるべきは、正規職員の採用であり、給食室のドライ化や老朽化を改善し、オーブンの設置、食器の改善こそすべきである。

教育長　22年度から3年間で6校について、調理業務の委託を実施する。施設・設備等改善について、委託校からドライ化や食器の改善を図りたい。

❷高齢者の住宅改修は寝たきりにならないために大事な施策である。今まで、市独自に20万円を限度に住宅改修への助成が行われていたが、昨年度、行政改革のもとで、介護保険との併用をやめ、補助金額も半分の10万円に減額された。トイレ改修や玄関の段差解消の費用は、20万円を超える。介護保険と併用できるように改善すべき。

保健福祉部長　介護保険の住宅改修の利用額は、平均12万円程度で保険の範囲内。併用は無理。

❸大住ふれあいセンターの児童館の改善を。多くの子どもたちが利用する児童館は、働く子育て中の人たちにとっては、ほとんど利用できない。誰もが利用できるよう日曜日の開館を。また、子どもの日を開館し、ふれあいセンターとして事業すべき。また、福祉バスの運行経路、利用改善を。

保健福祉部長　児童館の休館日を弾力的に運用できるよう条例改正を行った。子どもの日については、検討したい。

給食を楽しく友達と
食べるこどもたち（田辺小学校）

問 バリアフリー化を
答 早急に改修取り組みを進める

市田　博　議員（一新会）

❶安全・安心に対する市の姿勢は。桃園小学校通学路の竜王谷橋交差点を高齢者や障がい者、子ども及び乳母車が安心して通行できるバリアフリー化を求める。

建設部長　山手幹線竜王谷橋交差点歩道がバリアフリー対応になっていないため、早急に改修すべく取り組みを進めたい。

❷踏査事業の効果と成果は。桃園小学校区の幼児が通う、大住幼稚園通園路に対し、車両通行禁止の緩和を。

教育部長　徒歩通園が原則である。車で送迎の場合は宝生苑と公共施設の駐車場を利用。旧村の方々に北進制限（一方通行）一部解除を求めている。

❸大住工業専用地域拡大事業は新名神高速道路の進捗と平行して進めることが大原則と考える。支援プロジェクトによる準備会及び地権者への関わりは。

市長　早期に準備組織をつくることが先決であり、プロジェクトチームの職員が合意形成を図るべく地権者宅を個別訪問し、協力と理解を求め呼び掛けを行い、市としても物心両面から最大限の支援を行っていきたい。

❹第三次総合計画にある池ノ端丸山線について、幹線道路ネットワークの強化を図るとある。多方面からも強い要望のある池ノ端丸山線をどのように対処するのか。

建設部長　都市計画道路池ノ端丸山線は計画決定から30年が経過している道路である。本市の道路交通の状況は大きく変化している。社会情勢の変化した現在、北部地域において交通量の予測を立て、道路建設計画を策定したく考えている。なお、京都府では、交通量の調査（2月頃予定）を実施し、池ノ端丸山線を含め、北部地域の道路網のあるべき姿を総合的に協議し、事業実施に向け検討していただけるよう要望していきたい。

大住竜王谷橋付近の風景

議会日誌

【11月】
4日　決算特別委員会（5、7日）
10日　総務常任委員会管外研修（～11日）
11日　文教福祉常任委員会管外研修（～12日）
12日　島根県浜田市議会視察来庁
埼玉県川口市議会視察来庁
京都府木津川市議会視察来庁
17日　文教福祉常任委員会
18日　建設経済常任委員協議会
19日　議会運営委員会管外研修（～20日）
25日　議会運営委員会
26日　総務常任委員協議会
28日　議会運営委員会
幹事会

【12月】
2日　第4回定例会〈議案上程〉
文教福祉常任委員協議会
8日　第4回定例会〈一般質問〉
9日　第4回定例会〈一般質問〉
10日　第4回定例会〈一般質問〉
12日　総務常任委員会・協議会
15日　文教福祉常任委員会
16日　建設経済常任委員会・協議会
18日　議会運営委員会
幹事会
22日　議会運営委員会
25日　第4回定例会〈議案採決〉
広報編集特別委員会

【1月】
13日　広報編集特別委員会（16、23、30日）
21日　建設経済常任委員会
北海道札幌市議会視察来庁
27日　近畿市議会議長会
28日　文教福祉常任委員協議会

（以上主なもの）